

小学校 3 年

読む・くらべる・遊ぶ・書いてみる ～説明文の楽しさに触れよう～

池田市立神田小学校

教科

国語

単元名

まとまりをとらえて読む「こまを楽しむ」

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・段落の役割や文章全体の構成を理解し、情報と情報との関係を的確に捉える力
- ・筆者の考えと、それを支える事例や理由との関係に着目して読む力
- ・中心となる語や文を見つけて、文章の要点を整理する力
- ・得た情報をもとに自分の考えを形成し、他者と伝え合う力
- ・読み取った構成や表現の工夫を生かして、自分でも説明的な文章を書こうとする力

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・図書資料を使って情報を集め、比較しながら自分の目的に合った本を選ぶ力
- ・読書を通して、伝統文化・昔の遊び・技術など多様なジャンルに親しむ力

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

B-STEP 2, C-STEP 2
D-STEP 1, G-STEP 1

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開 (全 7 時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第 1 次 (2 時間)	・「こまを楽しむ」の本文を精読し、感想や書き方の工夫で気付いたことをノートに書き、交流する。 ・本単元を通して高めたい力や調べたいことを書き、学習の見通しをもつ。 ・段落に番号を振って「はじめ・中・おわり」に分ける。 ・「はじめ」と「おわり」を読み、共通点から中に書いてある観点を予想する。 ・こまに関する本やさまざまな種類のこまを教室に置き、こまに対する関心を高める。(☆)
第 2 次 (3 時間)	・中心となる問いと、それに対応する答えの段落や事例を整理する。 ・各事例の「楽しみ方」「つくり」「回し方」「回る様子」などの特徴を比較し、書かれ方の共通点や相違点に気づく。 ・6 つの事例がどのような順で並んでいるのかを考え、その順序に筆者の工夫やねらいがあるかを考察する。
第 3 次 (2 時間)	・本を読んだり、インターネットで調べたり、実際に遊んだりしたこまから紹介したいこまを選び、説明文を書く。(本時) (☆) ・友だちと書いた説明文を交流し、こまの魅力や書き方の違いを楽しむ。 ・単元をふり返り、「説明文を読む力・書く力」として身につけたことを確認する。

本時のねらい

- ・自分が紹介したいこまを選び、図書や ICT などを活用して必要な情報を集め、これまでに学んだ説明文の構成 (はじめ・中・おわり) を生かして、自分の考えを伝える説明文を書き始めることができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (10 分)	1. 本時の課題「こまについて調べ、説明文を書こう」を共有する。 2. これまで読んできたこまの事例をふり返り、説明文の書き方をおさえる。	・児童が興味をもって取り組めるよう、「自分で選ぶ・調べる・書く」活動であることを強調する。 ・写真付き図書や図鑑などを事前に見せ、学習の意欲を引き出す。
展開 (30 分)	3. こまに関する図書を読み、紹介したいこまを選ぶ。 4. 書くために必要な情報 (楽しみ方／つくり／回し方／回る様子など) に着目しながら、タブレットを使って説明文を書く。	観点を意識して情報を集める方法をあらかじめ確認しておく。調べたことをそのまま写すのではなく、自分の言葉で表現することを伝える。
まとめ (5 分)	5. クラウド上の提出箱に説明文を提出し、よりよい説明の仕方について考える。 ・友だちの書き方や情報にも目を向け、言葉の工夫や内容の広がりにつながられるよう、簡単な交流タイムを設定する。	「読む→調べる→書く→話す」という言語活動の往還を意識した時間構成とする。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・こまに関する本は、こまの回し方や工作の本が多かったため、インターネットや実物のこまも活用するなど、自分で調べ方を選択して調べられるようにした。右のワークシートは、児童が第 2 次で学んだ構成の工夫を生かして書くことができるようにした。
- ・授業中に扱った観点 (「楽しみ方」「つくり」「回し方」「回る様子」など) をシート内に示しておくことで、調べ学習の際も自然とその視点を意識して情報を整理し、書くことができた。タブレットを活用することで構成や文の長さの調整がしやすくなり、「読むこと」から「書くこと」への移行がスムーズに進んだと感じている。



中国ごまの楽しみ方を写真と文で説明しているワークシート